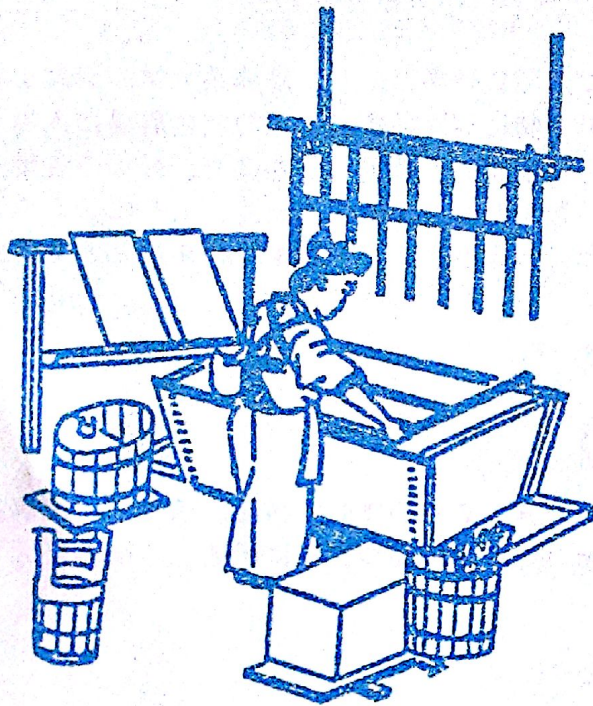


信州自治体学会第7回フォーラム

農山村の交流と豊かさ

農山村の交流からむらづくりへ



農山村には、美しい自然景観と伝統文化がたくさんあります。その中で豊かさを感じて生きるには、地域との交流から生まれるむらづくりとは、ぜひ、皆さんも参加し、一緒に考えてみましょう

★とき 1994年11月12日(土) 午前10時30分から

★ところ 下高井郡木島平村 若者センター TEL 0269-82-3218

★参加費 一般 3,000円(昼食付き)

学生 2,000円(")

宿泊 9,500円(1泊2食懇親会付き)

★主催 信州自治体学会

(事務局) 〒390-03松本市下岡田1398-3小林 修 TEL0263-46-2568

〈開催趣旨〉

信州自治体学会では、松本で第1回のフォーラムを開催して以来、住民自らのまちづくりをテーマに6回のフォーラムを重ねてきました。その中から、まちづくりを進めるには、住民と自治体との意識のギャップを埋め、住民と自治体職員が共労で作業を続ける事が共通のテーマであることが鮮明になってきました。今回は、農村に目を向け、後継者不足、生産意欲の減退等農村の荒廃が心配される中で、地域に根ざし、農村生活を豊かに暮らすために頑張っている人達にスポットをあて、その中から、どうむらづくりを進めるか、共に考え意見を交わす場にしたいと思います。

プログラム

11月12日(土) 第1日目

- 午前10時～ 受付開始
- 10時30分 開会挨拶 信州自治体学会代表運営委員 高橋寛治
- 10時40分～ 基調講演 演題「農村経営から見た飯山市のまちづくり」
講師 飯山市長 小山邦武
- 12時10分～ (昼食)
- 午後 1時～3時 パネルディスカッション
コーディネーター
日台 吉太郎 (木島平村役場職員)
- パネリスト
伊東 悦男 (八坂村役場職員)
伊東 敏子 (飯田市三穂主婦)
武田 登 (飯山市 農業)
小林 文子 (木島平村 主婦)
- 3時～5時 情報交換会
基調講演の講師、パネリストの方を囲んで、会場内で
自由な分散討論を行います。
- 6時～ 星空トーク (宿舎にて)

13日(日) 第2日目

飯水地区の施設めぐり

- 9時 馬曲温泉～9時30分 ケヤキの森公園～10時20分 野沢温泉総合アリーナ (インタースキー会場)～11時30分 栄村物産館「またたび」(昼食)
～午後1時30分 木島平村若者センターで解散

〔講師紹介〕

飯山市長

こまくにたけ

小山邦武

昭和10年11月7日長野県小諸市に生まれる 昭和34年北海道大学農学部卒業
昭和38年9月米国イリノイ大学酪農学科修士課程入学 昭和40年6月同大学卒業
昭和40年9月～昭和44年3月酪農学園大学酪農学科講師
昭和44年4月飯山市藤沢区に入植、酪農経営にあたる
平成2年9月飯山市長に就任 現在二期目
現在(財)21世紀村づくり塾理事 農政審議会専門委員も務める

小山邦武氏は小諸市の出身。畜産の勉強で米国に留学したり、酪農系大学の講師を務めた後、酪農経営の夢を追って69年、市内でも特に雪深い藤沢地区の実験農場に入植した。以来25年。すっかり地域に溶け込む一方、雪国育ちとは違った感覚で、飯山の各地を歩いては自然環境や歴史、文化、人情味など、豊かな魅力を敏感に発見、人々に伝えてきた。市長就任後も「飯山にたくさんある宝物を発見しよう。」と呼び掛け、市民とともに取り組む活力ある街づくりを強調してきている。

パネリスト

伊東 悦男氏(北安曇郡八坂村)

農山村での生活の魅力を、「家庭内の味」を中心にして再生、漬物など地場産品づくりを家庭内から始め、オバアチャンの生き甲斐づくりに活躍。今後の展開が楽しみな八坂村役場職員。

伊東 敏子氏(飯田市三穂)

「三穂生活改善グループ」の中核、兼業農家の主婦として、梨栽培のかたわら、各地の人々と交流を拡大、去年は同じグループの農家のお母さんたちとヨーロッパの農村視察にまで広がっている。

武田 登(飯山市農業)

飯山市瑞穂地区で毎年行われている「菜の花祭り」の会場一帯を、さらに菜の花で埋めつくそうと頑張っている、「菜の花さかせる会」の会長。

小林 文子(木島平村主婦)

夫は公務員から農業へ、そして本人もまた、会社員から農業へ転職し施設園芸に取り組んでいる。地域の仲間と共に、「本とふれあいの会」等を通じて積極的に地域の女性と活動の輪を広げようとしている。

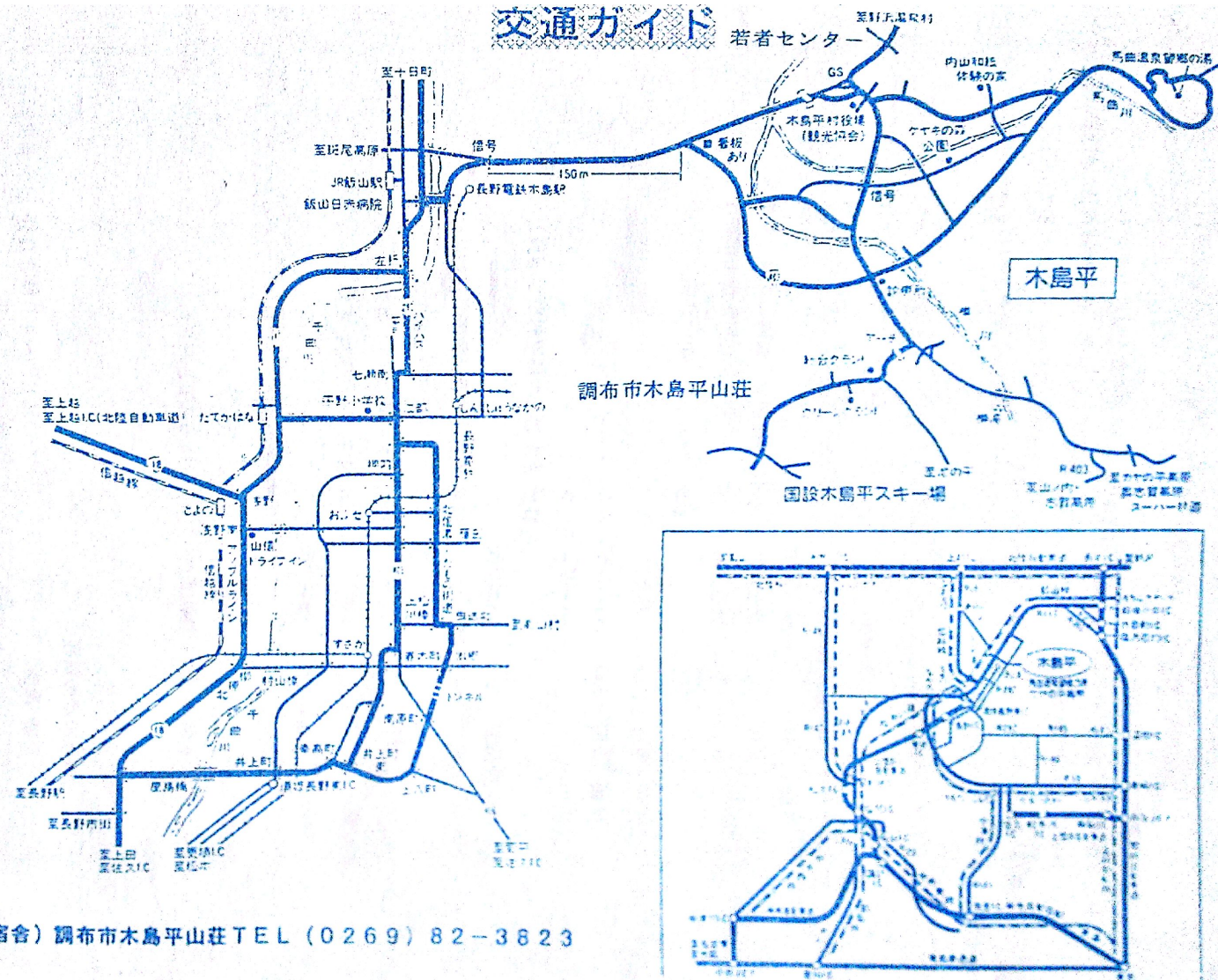
コーディネーター

日台 吉太郎氏

木島平村役場建設課職員

信州自治体学会地元運営委員

交通ガイド



(宿舎) 調布市木島平山荘 TEL (0269) 82-3823